内政

１　燃料補助への追加資金

９月３日、国会予算委員会は、燃料価格の国際的な高騰に対応するため、２６３０万の追加資金を経済財務省に投じることを決定した。

２　９月７日、エスピノ・デ・マロッタ氏が新運河庁（ＡＣＰ）長官に就任した。

３　エルニーニョ現象の影響による農産物生産減少

９月３日、農業開発省は、農産物生産減少に関する予想を発表した。降雨不足によって米は１５～２０％、玉ねぎは１５％の減少が予想される。他方、大量降雨によるバナナ栽培への影響も懸念される。また、家畜の飼料生産及び飲料水確保への影響も予想される。

４　マルティネリ元大統領とロンバナ「もう一つの道（ＭＯＣＡ）」党首の会合

９月１８日、ロンバナＭＯＣＡ代表は、汚職の罪で有罪判決を受け、コロンビアに亡命しているマルティネリ元大統領とコロンビアにて会合を行った。

ＭＯＣＡは声明にて、同会合は２０２９年大統領選挙に向けたいかなる政治的合意も意味せず、汚職及び選挙制度改革について話し合ったのみであると発表した。

また、同大統領の恩赦について話し合った可能性についても取り沙汰されているが、ＭＯＣＡ所属議員も所属するセギモス会派は恩赦を支持しない旨声明で発表した（当館注：２０２５年、国会委員会にて同元大統領の恩赦について検討されたが、反対多数で否決されている）。

５　バモス無所属会派の政党登録に必要な署名獲得

９月２５日、バモス無所属会派のバスケス代表は、政党登録に向けて必要な７０万人の署名を２７日間で集め、その他必要書類とともに選挙裁判所に提出した（当館注：政党登録には、５００名の署名を集め選挙裁判所に登録申請を行い、その後、前回選挙の有効投票数の２％の署名集め、選挙裁判所に提出し、同裁判所が審査する）。

なお、現在、バモス以外にも１１の団体が政党登録手続きを行っている。

６　スアレス元公共事業大臣への公金横領による有罪判決

９月２９日、スアレス元公共事業大臣（マルティネリ政権：２００９年～２０１２年）は公金横領の罪で禁固１６年の有罪判決（刑期満了後１６年の公職停止）を受けた。同判決は、複数のインフラ公共事業における過剰コストに関するものである。なお、同元大臣は控訴する意向を示している。

７　失業率の改善

９月２９日、国立統計・国勢調査機関（ＩＮＥＣ）が、失業率を８．５％と発表した。なお、同失業率は、昨年同時点の１０．４％と比較して１．９％の低下している。

また、労働総人口は、２０４万５０００人で、昨年と比べて７万７２３１人増加している。他方、インフォーマルセクターにおける労働は、４７．１％から４５．８％に低下した。

８　ドノソ鉱山に関し、省庁横断チームの最終報告が提出された。

外交

１　ムリーノ大統領関連

（１）９月４日、同大統領は、エクアドルを訪問した。

（２）９月２２日～２５日、同大統領は、国連総会出席のためニューヨークを訪問した。

２　マルティネス＝アチャ外相関連

（１）９月１日、同外相は、第９回国連非常任理事国年次対話に出席した。

（２）シンクラー・バルバドス外相の訪問

９月２日、同外相は、シンクラー外相と会談し、貿易、観光及び地域協力について話し合った。

（３）９月４日、同外相は、ムリーノ大統領のエクアドル訪問に同行した。

（４）９月２２日～２５日、同外相は、国連総会出席のためニューヨークを訪問した。

３　外務省関連

（１）ゲバラ・マン次官のブラジル訪問

９月１日、同次官は、ブラジル核エネルギー研究所（ＩＰＥＮ）の７０周年記念式典に出席した。

（２）ゲバラ・マン次官のウルグアイ訪問

９月２日、同次官は、第２０回ラテンアメリカ統合連合（ＡＬＡＤＩ）閣僚会合に出席するため同国を訪問した。

（３）オジョス外務次官のフランス企業訪問団との会合出席

ア　９月１４日、同次官は、フォリシエ仏貿易・誘致担当大臣及びフランス企業（インフラ、運輸、セキュリティ、通信、広告、水管理及びサービス産業等の分野）との会合に出席した。同次官は、インフラ、イノベーション、持続可能性及びコネクティビティ等、両国共通の関心事項を強調した。

イ　同次官は、パナマ・ダビッド鉄道計画に関する覚書に言及し、同覚書には実現可能性に関する調査、フランスからの技術支援、金融アクセス等が含まれている。

ウ　フォリシエ大臣は、約１００社のフランス企業がパナマには進出しており、その多くがパナマを地域事業展開の拠点としていると述べた。

エ　同大臣は、フランスは友好国との結びつきを強化することで、貿易・ビジネス関係の多様化を図っていると述べ、パナマのＥＵの基準に適合に向けた取り組みに言及した。フランスはこの問題についてできるだけ早期に合意ができるように働きかけていると述べた。

（４）ゲバラ・マン次官のフエンテス国連人権担当次長補との会談

９月１６日、同次官はフエンテス国連人権担当次長補と会談し、国連人権高等弁務官事務

所（ＯＨＣＨＲ）の活動拡大、パナマ事務所をラテンアメリカ・カリブ海の新たな中心にすることについて話し合った。

（５）ゲバラ・マン次官の国連総会のマージンにおける活動

ア　９月２１日、同次官は、ＣＥＬＡＣ外相会合に出席し、ＥＵ、韓国、インド及びトルコとの関係を強化する重要性を強調した。

イ　９月２１日、同次官は、ＥＵが主催する武装紛争における人権擁護及び国際人道法の遵守強化に関する会合に出席した。

ウ　９月２４日、同次官は、ＣＥＬＡＣ・インド会合に出席した。

エ　９月２４日、同次官は、食糧問題に関する会合に出席した。

（６）９月２８日、フィリピンとの政策協議。

（７）９月３０日、外務省は、パナマ・テキサス・ウィーク２０２６の一環として、米国テキサス州から貿易・経済開発ミッションとの会合を開催した。

（８）９月３０日、カタール訪問団の訪問。

４　９月８日、パナマ・台湾友好議員連盟発足。

５　９月２２日、マチャド・ベネズエラ野党指導者への特別外交旅券発行。

６　９月２９日、Zhang Xiangyan 在パナマ・中国大使は、ムリーノ大統領に信任状を捧呈した。